

## (B) 歳 入

令和2年度における一般会計歳入決算額は 184,578,838,246 千円  
 であって

歳入予算額	175,687,767,355 千円
当初予算額	102,657,971,326 千円
予算補正追加額	81,418,686,537 千円
予算補正修正減少額	8,388,890,508 千円

に対し 8,891,070,891 千円  
 の増加となるが、この増加額には前年度剰余金受入が予算額に対して増加した額  
 6,578,064,688 千円  
 が含まれているので、これを差し引くと、純歳入においては  
 2,313,006,202 千円  
 の増加となる。その内訳は

租税及印紙収入における増加	5,696,604,189 千円
官業益金及官業収入における減少	3,969,219 千円
政府資産整理収入における増加	55,057,924 千円
雑収入における増加	565,313,495 千円
公債金における減少	4,000,000,188 千円

である。

なお、歳入予算額の性質(部)別内訳を示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

性 質 (部)	当初予算額	補正予算額	計
租 税 及 印 紙 収 入	63,513,000,000	△ 8,388,000,000	55,125,000,000
官 業 益 金 及 官 業 収 入	50,381,307	—	50,381,307
政 府 資 産 整 理 収 入	235,221,241	△ 2,780,181 177,191	237,824,231
雑 収 入	5,775,721,246	△ 727,785,761 713,317	6,502,793,690
公 債 金	32,556,200,000	79,997,724,122	112,553,924,122
前 年 度 剰 余 金 受 入	527,447,532	690,396,473	1,217,844,005
計	102,657,971,326	△ 81,418,686,537 8,388,890,508	175,687,767,355

以下、主な歳入について説明する。

歳入を性質(部)別に区分し、その歳入予算額と歳入決算額とを比較してみると、次のとおりである。

一般会計歳入予算決算額比較表

(単位 千円)

性質(部)	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
租税及印紙収入	55,125,000,000	60,821,604,189	60,821,604,189	—	—	5,696,604,189	110
官業益金及官業収入	50,381,307	46,470,304	46,412,087	14,706	43,509	△ 3,969,219	92
政府資産整理収入	237,824,231	292,902,564	292,882,155	512	19,896	55,057,924	123
雑収入	6,502,793,690	7,086,188,689	7,068,107,185	1,039,188	17,042,315	565,313,495	108
公債金	112,553,924,122	108,553,923,933	108,553,923,933	—	—	△ 4,000,000,188	96
前年度剰余金受入	1,217,844,005	7,795,908,693	7,795,908,693	—	—	6,578,064,688	640
計	175,687,767,355	184,596,998,375	184,578,838,246	1,054,406	17,105,722	8,891,070,891	105

また、平成28年度から令和2年度までの各年度における性質(部)別の歳入決算額(収納済歳入額)を示せば、次のとおりである。

(単位 千円)

性質(部)	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
租税及印紙収入	55,468,640,078	58,787,489,092	60,356,384,506	58,441,533,340	60,821,604,189
官業益金及官業収入	47,030,361	50,216,545	50,745,666	51,256,758	46,412,087
政府資産整理収入	384,221,282	278,155,952	268,045,634	226,385,402	292,882,155
雑収入	4,894,552,186	5,741,326,827	5,098,397,322	7,138,627,026	7,068,107,185
公債金	38,034,599,744	33,554,599,732	34,395,399,729	36,581,851,815	108,553,923,933
前年度剰余金受入	3,944,983,023	5,232,261,834	5,528,445,263	6,722,721,579	7,795,908,693
計	102,774,026,676	103,644,049,985	105,697,418,124	109,162,375,922	184,578,838,246

1 租税及印紙収入

一般会計における租税及印紙収入は、「国税収納金整理資金に関する法律」(昭29法36)に基づき、国税収納金整理資金から歳入に組み入れられる租税及び印紙収入(現金納付によるもの)と、「印紙をもつてする歳入金納付に関する法律」(昭23法142)に基づき、日本郵便株式会社から納付される印紙収入(収入印紙の売りさばきによるもの)からなるものであって、同資金及び同社から受け入れた歳入決算額を歳入予算額と比較して示せば、次のとおりである。

租税及印紙収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科	目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
租	税	54,255,000,000	59,902,141,684	59,902,141,684	5,647,141,684	110
所	得	18,496,000,000	19,189,790,071	19,189,790,071	693,790,071	103
	源泉所得	15,591,000,000	15,997,575,073	15,997,575,073	406,575,073	102
	申告所得	2,905,000,000	3,192,214,997	3,192,214,997	287,214,997	109
法	人	8,041,000,000	11,234,625,999	11,234,625,999	3,193,625,999	139
相	続	2,231,000,000	2,314,539,062	2,314,539,062	83,539,062	103
消	費	19,273,000,000	20,971,366,445	20,971,366,445	1,698,366,445	108
酒	税	1,143,000,000	1,133,617,250	1,133,617,250	△ 9,382,749	99
た	ば	862,000,000	839,818,822	839,818,822	△ 22,181,177	97
揮	発	2,047,000,000	2,058,244,331	2,058,244,331	11,244,331	100
石	油	6,000,000	4,625,290	4,625,290	△ 1,374,709	77
航	空	11,000,000	8,522,157	8,522,157	△ 2,477,842	77

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済 歳入額との差	歳入予算額に対 する収納済歳入 額の割合(%)
石油石炭税	599,000,000	607,754,465	607,754,465	8,754,465	101
電源開発促進税	315,000,000	311,016,857	311,016,857	△ 3,983,142	98
自動車重量税	393,000,000	398,516,564	398,516,564	5,516,564	101
国際観光旅客税	3,000,000	1,040,917	1,040,917	△ 1,959,082	34
関税	825,000,000	819,469,249	819,469,249	△ 5,530,750	99
とん税	10,000,000	9,190,136	9,190,136	△ 809,863	91
地価税	—	2,871	2,871	2,871	—
旧税	—	1,190	1,190	1,190	—
印紙収入					
印紙収入	870,000,000	919,462,505	919,462,505	49,462,505	105
収入印紙	511,000,000	534,389,052	534,389,052	23,389,052	104
現金収入	359,000,000	385,073,452	385,073,452	26,073,452	107
計	55,125,000,000	60,821,604,189	60,821,604,189	5,696,604,189	110

上記のうち、主要税目について説明すれば、次のとおりである。

## (1) 所得税

源泉所得税と申告所得税に分けて予算額と決算額とを比較すれば、次のとおりである。

(単位 百万円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	(B) / (A) (%)
源泉所得税	15,591,000	15,997,575	102
申告所得税	2,905,000	3,192,214	109
計	18,496,000	19,189,790	103

## (イ) 源泉所得税

(単位 百万円)

区 分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	18,140,000	18,554,424	414,424
繰越滞納分収入額(B)	19,000	12,787	△ 6,212
合計収入額(A) + (B) (C)	18,159,000	18,567,211	408,211
還付税額(D)	2,568,000	2,569,636	1,636
差引歳入額(C) - (D) (E)	15,591,000	15,997,575	406,575

源泉所得税は、配当所得に対する課税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して4,144億円(2.2%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して4,065億円(2.6%)の増収となった。

## (ロ) 申告所得税

(単位 百万円)

区 分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	3,057,000	3,286,106	229,106
繰越滞納分収入額(B)	70,000	99,711	29,711
合計収入額(A) + (B) (C)	3,127,000	3,385,818	258,818
還付税額(D)	222,000	193,603	△ 28,396
差引歳入額(C) - (D) (E)	2,905,000	3,192,214	287,214

申告所得税は、事業所得に対する課税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して2,291億円(7.4%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して2,872億円(9.8%)の増収となった。

(2) 法人税

(単位 百万円)

区分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	9,909,000	13,202,895	3,293,895
繰越滞納分収入額(B)	50,000	53,438	3,438
合計収入額(A)+(B)(C)	9,959,000	13,256,333	3,297,333
還付税額(D)	1,918,000	2,021,707	103,707
差引歳入額(C)-(D)(E)	8,041,000	11,234,625	3,193,625

法人税は、申告税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して32,938億円(33.2%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して31,936億円(39.7%)の増収となった。

(3) 消費税

(単位 百万円)

区分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
本年度分税額(A)	24,839,000	26,552,329	1,713,329
繰越滞納分収入額(B)	226,000	284,744	58,744
合計収入額(A)+(B)(C)	25,065,000	26,837,074	1,772,074
還付税額(D)	5,792,000	5,865,707	73,707
差引歳入額(C)-(D)(E)	19,273,000	20,971,366	1,698,366

消費税は、申告税額が見込みを上回ったこと等から、本年度分税額が予算額に対して17,133億円(6.8%)の増収となったこと等により、決算額は予算額に対して16,983億円(8.8%)の増収となった。

(4) 酒税

(単位 百万円)

区分	予算額	決算額	予算額と決算額との差
歳入額	1,143,000	1,133,617	△ 9,382

酒税は、リキュールの課税数量が見込みを下回ったこと等により、決算額は予算額に対して93億円(0.8%)の減収となった。

2 官業益金及官業収入

官業益金及官業収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
官業収入	50,381,307	46,470,304	46,412,087	14,706	43,509	△ 3,969,219	92
病院収入	18,170,841	15,917,879	15,875,926	2,865	39,087	△ 2,294,914	87
国有林野事業収入	32,210,466	30,552,425	30,536,161	11,841	4,422	△ 1,674,304	94

官業収入が予算額に対して39億円減少したのは、病院収入において患者数が予定より少なかったこと等のためである。

### 3 政府資産整理収入

政府資産整理収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
国有財産処分収入	50,291,706	52,601,365	52,580,958	512	19,895	2,289,252	104
国有財産売払収入	46,505,730	47,805,675	47,785,268	512	19,895	1,279,538	102
特定国有財産売払収入	3,785,976	4,783,090	4,783,090	—	—	997,114	126
有償管理換収入	—	12,600	12,600	—	—	12,600	—
回収金等収入	187,532,525	240,301,198	240,301,197	—	1	52,768,672	128
特別会計整理収入	75,621,869	75,729,761	75,729,760	—	1	107,891	100
引継債権整理収入	24	—	—	—	—	△ 24	—
貸付金等回収金収入	74,185,978	78,537,368	78,537,368	—	0	4,351,390	105
東日本大震災復興貸付金等回収金収入	216,458	216,458	216,458	—	—	—	100
政府出資回収金収入	25,559,268	26,763,160	26,763,160	—	—	1,203,892	104
東日本大震災復興放射性物質汚染対策緊急除染等事業費回収金収入	11,895,272	58,998,634	58,998,634	—	—	47,103,362	495
事故補償費返還金	53,656	54,911	54,911	—	—	1,255	102
東日本大震災復興事故由来放射性物質汚染対処費回収金収入	—	904	904	—	—	904	—
計	237,824,231	292,902,564	292,882,155	512	19,896	55,057,924	123

上記のうち、主なものについて説明すれば、次のとおりである。

- (1) 国有財産処分収入が予算額に対して22億円増加したのは、国有財産売払収入において土地の売払面積が予定より多かったこと等のためである。
- (2) 回収金等収入が予算額に対して527億円増加したのは、東日本大震災復興放射性物質汚染対策緊急除染等事業費回収金において、「原子力損害の賠償に関する法律」(昭36法147)第3条第1項の規定による損害賠償金に係る回収金が予定より多かったこと等のためである。

### 4 雑 収 入

雑収入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
国有財産利用収入	124,158,591	95,630,542	95,472,770	31,857	125,915	△ 28,685,820	76
国有財産貸付収入	57,872,155	55,791,799	55,642,215	26,551	123,031	△ 2,229,939	96
国有財産使用収入	5,346,147	2,090,045	2,090,042	—	3	△ 3,256,104	39
利子収入	73,931	55,466	47,281	5,305	2,879	△ 26,649	63
配当金収入	60,866,358	37,693,230	37,693,230	—	—	△ 23,173,127	61
納付金	1,011,641,437	1,538,764,739	1,537,518,746	35,152	1,210,840	525,877,309	151
法科大学院設置者納付金	49,090	50,310	50,310	—	—	1,220	102
日本銀行納付金	643,500,000	1,158,159,843	1,158,159,843	—	—	514,659,843	179
独立行政法人造幣局納付金	7,650,749	10,934,820	10,934,820	—	—	3,284,071	142

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	不納欠損額	収納未済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
独立行政法人日本スポーツ振興センター納付金	5,005,626	5,005,625	5,005,625	—	—	△ 0	99
日本中央競馬会納付金	327,596,468	327,236,939	327,236,939	—	—	△ 359,528	99
特定アルコール譲渡者納付金	9,062,550	13,964,026	13,964,026	—	—	4,901,476	154
特定タンカー所有者納付金	196,755	—	—	—	—	△ 196,755	—
雑 納 付 金	18,570,595	23,400,190	22,154,197	35,152	1,210,840	3,583,602	119
東日本大震災復興雑納付金	9,604	12,983	12,983	—	—	3,379	135
諸 収 入	5,366,993,662	5,451,793,406	5,435,115,668	972,177	15,705,560	68,122,006	101
特別会計受入金	2,744,119,729	2,744,066,867	2,744,066,867	—	—	△ 52,861	99
東日本大震災復興エネルギー対策特別会計受入金	72	72	72	—	—	—	100
東日本大震災復興食料安定供給特別会計受入金	1,924,696	1,924,696	1,924,696	—	—	—	100
公共事業費負担金	860,445,393	872,242,180	865,372,854	—	6,869,325	4,927,461	100
東日本大震災復興公共事業費負担金	81,126	162,370	162,370	—	—	81,244	200
授業料及入学検定料	122,103	90,869	90,591	—	277	△ 31,511	74
許 可 及 手 数 料	76,530,575	63,752,212	63,743,594	2,498	6,120	△ 12,786,980	83
受託調査試験及役務収入	85,769,550	82,361,239	82,358,985	—	2,253	△ 3,410,564	96
懲 罰 及 没 収 金	100,741,757	90,108,256	90,108,256	—	—	△ 10,633,500	89
弁 償 及 返 納 金	754,827,433	723,692,712	718,436,975	720,182	4,535,554	△ 36,390,457	95
物 品 売 払 収 入	6,021,769	6,775,234	6,775,234	—	—	753,465	112
電波利用料収入	74,989,656	76,037,326	72,045,694	3,594	3,988,037	△ 2,943,961	96
矯正官署作業収入	3,717,402	2,800,445	2,800,445	—	—	△ 916,956	75
文官恩給費特別会計等負担金	446,353	446,353	446,353	—	—	—	100
貨幣回収準備資金受入	500,000,000	630,716,505	630,716,505	—	—	130,716,505	126
附帯工事費負担金	20,822,000	19,941,720	19,764,549	24,088	153,082	△ 1,057,450	94
雑 入	136,434,048	132,438,636	132,065,914	221,813	150,908	△ 4,368,133	96
東日本大震災復興物品売払収入	—	5,941	5,941	—	—	5,941	—
東日本大震災復興弁償及返納金	—	4,185,701	4,185,701	—	—	4,185,701	—
特 別 収 入	—	1	1	—	—	1	—
東日本大震災復興雑入	—	44,063	44,063	—	—	44,063	—
計	6,502,793,690	7,086,188,689	7,068,107,185	1,039,188	17,042,315	565,313,495	108

上記のうち、主なものについて説明すれば、次のとおりである。

- (1) 国有財産利用収入が予算額に対して286億円減少したのは、配当金収入において1株当たり配当金が予定を下回ったこと等のためである。
- (2) 納付金が予算額に対して5,258億円増加したのは、日本銀行納付金において外国為替相場の変動により為替差益が生じたこと等のためである。
- (3) 諸収入が予算額に対して681億円増加したのは、貨幣回収準備資金受入において、「貨幣回収準備資金に関する法律」(平14法42)第12条の規定による貨幣回収準備資金からの受入れが予定

より多かったこと等のためである。

なお、特別会計受入金の内訳は、次のとおりである。

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
特別会計受入金	2,744,119,729	2,744,066,867	2,744,066,867	△ 52,861	99
外国為替資金特別会計受入金	2,590,782,630	2,590,782,630	2,590,782,630	—	100
財政投融资特別会計受入金	146,199,919	146,193,975	146,193,975	△ 5,943	99
エネルギー対策特別会計受入金	8	8	8	—	100
年金特別会計受入金	37,402	7,536	7,536	△ 29,865	20
食料安定供給特別会計受入金	4,345,203	4,342,582	4,342,582	△ 2,620	99
自動車安全特別会計受入金	2,754,567	2,740,135	2,740,135	△ 14,431	99
東日本大震災復興エネルギー対策特別会計受入金					
エネルギー対策特別会計受入金	72	72	72	—	100
東日本大震災復興食料安定供給特別会計受入金					
食料安定供給特別会計受入金	1,924,696	1,924,696	1,924,696	—	100
計	2,746,044,497	2,745,991,635	2,745,991,635	△ 52,861	99

なお、上記のうち、エネルギー対策特別会計から受け入れた72千円及び食料安定供給特別会計から受け入れた1,924,696千円については、「特別会計に関する法律」(平19法23)第227条の規定により東日本大震災復興特別会計へ繰り入れを行っている。

## 5 公 債 金

公債金予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
公 債 金	22,596,000,000	22,595,999,908	22,595,999,908	△ 91	99
特 例 公 債 金	89,957,924,122	85,957,924,025	85,957,924,025	△4,000,000,096	95
計	112,553,924,122	108,553,923,933	108,553,923,933	△4,000,000,188	96

特例公債金が予算額に対して40,000億円減少したのは、特例公債の発行が予定より少なかったためである。

## 6 前年度剰余金受入

前年度剰余金受入予算決算額比較表

(単位 千円)

科 目	歳入予算額	徴収決定済額	収納済歳入額	歳入予算額と収納済歳入額との差	歳入予算額に対する収納済歳入額の割合(%)
前年度剰余金受入	1,202,766,613	7,780,831,301	7,780,831,301	6,578,064,688	646
東日本大震災復興前年度剰余金受入	15,077,392	15,077,392	15,077,392	—	100
計	1,217,844,005	7,795,908,693	7,795,908,693	6,578,064,688	640

前年度剰余金受入が予算額に対して65,780億円増加したのは、令和2年度への繰越歳出予算財源等の受入れがあったためである。

なお、歳入予算額は、令和元年度の「財政法」(昭22法34)第41条の剰余金のうち、歳出予算の財源に充てるための受入額に相当する額であり、収納済歳入額は、令和元年度の「財政法」第41条の剰余金である。